



地域と共に

手をつなくボランティア

紹介

ボランティア賞受賞校

社会福祉協議会（以下「社協」）は、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕や社会連帯の精神を養うとともに、福祉意識の啓発を図るため、学校・家庭・地域社会におけるボランティア活動の普及に努めています。

このたび、かつて社協が「ボランティア活動普及事業協力校」に3か年指定して活動実績のある2校が、全国レベルの素晴らしいボランティア賞等を受賞されましたので、改めて紹介します。

鹿児島市立 甲東中学校

受賞名

- ・ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状
- ・善行青少年表彰（内閣府）

受賞理由

生徒会を中心に長年続ける早朝の地域清掃や、アルミ缶回収で施設に車椅子を贈る等の活動が評価されました。



活動内容

10年ほど前から毎朝、学校の周囲や人通りの多い市立病院前の歩道などの清掃や校門であいさつ運動を続けています。

また、1998年からは「一人一缶」を合い言葉にアルミ缶回収を手がけ、地域の方がたの協力も得て、毎年300~400キロを回収し、これまで鹿児島中央駅などへ車椅子を計6台寄贈しました。

その他、福祉施設利用者と交流したり、警察や防犯団体などの地域社会とスポーツや音楽を通してふれあっています。

※ボランティア活動普及事業協力校
指定年度 平成4~6年度

鹿児島県立 栗野工業高等学校

受賞名

- ・ソロプチミスト日本財団が贈る平成18年の社会ボランティア賞（表彰状と副賞20万円）

受賞理由

建設工学科木工班が1998年から町内の高齢者宅で続けている「こそくり大工」が地域貢献活動で高い評価を受けました。



活動内容

建設工学科木工班の生徒と指導教諭がチームを組み、住宅補修依頼のあった高齢者宅に出向き、雨樋の壊れた箇所や壁や床・天井の貼り替えなどの補修作業を行っています。

家主の負担は、材料代と運搬費だけで、学習活動とボランティアを一体化させた活動として注目されています。

今年の夏は、県北部豪雨で床上浸水した高齢者宅の大きかりな補修作業にも取り組み大変喜ばれました。

※ボランティア活動普及事業協力校
指定年度 平成13~15年度

善意に感謝します

次の方がたから寄付金ならびに寄附物品が県社会福祉協議会に寄せられました。ありがとうございました。

- 大原 禎子 様
- 住友生命保険相互会社 様
- 東京海上日動火災保険株式会社 様

主な行事予定

- ▶ 3月11日・4月8日 住宅改修相談会（県民交流センター）
- ▶ 3月2日・16日 福祉人材無料職業紹介所夜間求職相談窓口設置（県社会福祉センター6階）
- ▶ 4月6日・20日
- ▶ 3月3日 シニアボランティア研修会（アーバンポートホテル）

《表紙写真提供》 野間順一氏：県職員。若いころから霧島の山々を登山し、四季折々の風景をカメラに収めていらっしゃいます。

▼「ふくしのひろば」についてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。

利用支援センター（福祉情報センター） ☎ 099(257)5700 FAX 099(257)5707 E-MAIL TOB46A01@wamnet.wam.go.jp

☆この広報紙は、県および共同募金会の協力を得て発行されています。
印刷 南日本共同印刷株式会社 ☎099(224)8720